

Horizontal World

新刊

セイアヤク

新刊

{ R-18 }  
for Adult Only





さて、先生――

些か<sup>いささ</sup>午睡には寝苦しい時節だが、

君の来訪が意義のある時間にしてくれたらしい

ギイッ

再び――その意義を確認したくなった際は、

また、私の呼びかけに  
応じてくれるかい？

もちろん

じゃあ、またね――

……午睡？

午睡……  
午睡……ね……

いや……  
いくら名目上の  
こととはいえ、

よく言うよ、  
セイア

キュルルルル

トリニティ総合学園/ティーパーティー  
百合園 セイア



一睡だつて  
していなかつたくせに――

セイア……ッ  
もう、大丈夫……!

充分  
だから……ッ

う……ッ

……そうは  
言つても……

なに、私には  
よく聞こえているよ

ムワッ……

……ッ

……私の腔内に  
2回、

くぽくぽくぽくぽ

おまけに  
脚で1回……

胸で1回、

口腔に1回、  
手で1回、

計6回の  
放出を以てしても  
なお残り――

解放を待ちわびる  
種子たちの  
嘆願がね

だが、  
その悲願も漸く、  
達せられるときが  
来たようだ――

ちゅっ♡

ちゅぽ♡

ちゅ♡

ちゅるるるるるる





念入りに  
これだけ  
搾れば

暫くは  
問題ないだろう

なに—

ちゅぽん



儚く消えゆく  
寸前であつた  
彼女の神秘は

一時は  
運命の嵐の前に

私とセイアは  
恋仲だ



新たな輝きを  
灯していった

旧き友たちとの  
語らいと

新たな友たちとの  
触れ合いで

それは  
先生としても  
恋人としても



これも私の  
務めだからね

気にする  
事はないさ

最後に...♡



喜ばしいこと  
この上ない――

先生……

私は君に  
焦がれている

そして  
君もまた  
同様に――

なんて、

そうあってほしいと  
願うのは

「面倒くさい恋人」……  
というやつかな？

そんなこと  
ないよ

私も  
同じ気持ちだから

そうかい？  
フフフ……

ときに  
先生、

……コレを  
憶えているかい？

！  
それは……

私がうっかり  
署名してしまった  
(セイアに騙されて)

白紙の  
伝票……？

いか  
如何にも

キッポ……

コレがある限り  
私は、

なんでも先生に  
要求できるという  
ワケだが、

でもその輝き  
少し、

こういった  
趣きも、

であれば  
そう――

悪くは  
ないだろう……？

変な光  
放ってない……？

はい？

SEIA TICKET

左記の者は、この券の発行者である。  
百合園セイアの自室以外での吐精を禁じる。

左記の者は、この券の発行者である。  
百合園セイアの自室以外での吐精を禁じる。









私と  
したことが  
トリニティが誇る  
叡智の欠片達を

このような



あやれやれ  
あの場所が  
私の自室から  
ほど近い

トリニティの  
敷地内で  
なければ



どうするつもり  
だったんだい…?

欲求の一つを  
コントロール  
されている

とはいえ…  
私も気をつけよう

屈むたびに  
胸を凌辱されて  
しまつては…

服の替えが  
追いつかないからね…

ぜ…絶対…  
見せつけてる

…彼女の  
意地の悪い  
ところは

おや  
先生…

…行為を  
禁じるのではなく、



手が  
止まっているよ?

まったく…



あくまで  
「射精」――

座り心地だけ  
良くなっても  
仕方がないがね…

さっさと  
片付けなければ  
時間という  
連綿たる  
流れにおいて

その回避は  
神がかり的な  
セイアの勘で、

私と過ごす一瞬すら  
失っている――  
いうことを――

む…

――さて、  
そろそろ…

何度でも自在に  
成し遂げること  
ができる

あ…

私はお暇  
させてもらおう

この装いの感想も  
「訊けた」ことだしね

何度でも  
何度でも――

そうして  
煮詰まった  
恋人の情欲を

さながら  
上等な美酒のように

翠帳紅闇の  
まぐわいを  
堪能する



詰まるどころ  
あの誓約は

刻みこまれて  
しまったね…

そんな  
彼女の筋書きを  
実現するための  
ものだった

君の、  
欲望のカタチを—♡

違う!!!

セイアとは  
もったこう…

こんな、  
爛れてない…

ふつうの  
お付き合いの  
つもりでえ…!

で、でも…

恒常的な  
禁欲に加えて、

不意の  
えっちアピールに  
鬼の寸止め…

そんなの  
好きな子に  
やられたんじゃ

情緒も理性も  
ボロボロだ…っ

仕事に缶詰で  
しばらくトリニティに  
行けていない、いま…

彼女に会って  
はたして  
正気でいられるか…

…こんな状態で…  
ミカ主導の、

ティーパーティー…  
ナギサの慰安バカンスに  
臨んでいいのだろうか…?



このバカンスは  
ミカの思惑に反して  
波乱の連続だった

何も知らない  
ナギサを  
心配させまいと、

波のように  
押し寄せる苦難に  
立ち向かうミカ

そんな彼女を  
バックアップする  
ハスミとイチカ

そして  
唐突なエロ自撮りに  
翻弄される私

手のかかる友人が世話になっているご褒美

果てには、  
別荘を失う(2回)  
という憂き目に  
遭うものの…

ミカの  
友を想う心は、

彼女たちの絆を  
失ったもの以上に  
強くしたようだ

そして  
寝床を失った  
我々は、

セイアの車に  
積んであったテントに  
泊まることになった

……  
幸か不幸か、

奔走してて  
気が紛れてたけど

起きてると  
ムラムラするから  
もう寝よう

常結  
しゅん  
よーん





すや...☆

ヒビキは  
私をなだめ  
てくたさうと  
思っている

斯くの如く、

何もかも  
想定外のこの状況

ここでただ  
寝て過ごす私では  
あるまいよ

ザッ ザッ

じり...

実に無駄のない  
潜入

誰が  
呼んだか、  
「シーフ王」の  
面目躍如と  
いうわけだね

これほどまでの  
気の抜けた寝顔を  
前にしては、

興も何も無い  
起こすことすら  
憚られるとはね...

...だと  
いうのに、

んが...

潜入の報酬が  
この眺めというのは、  
少しばかり不足だが、

...ついでの  
駄賃として、

つ...

これくらいは  
頂いても









私に対する、劣情…  
その、源泉…♡

んは…♡

重く、熱く、  
どろどろした  
その情念が、

へはめ…♡

止め処無く  
波濤のように

…口淫している  
こちらが、  
犯されているような  
感覚だ…♡

ちゅく…♡

こ、これ以上は

吐精を  
促してしまうな…

君をここまで  
させた誓約を、

私自らが  
反故にする  
だなんて

そんな、

笑い種とするにも  
お粗末な、

13P…♡

のし…♡

けつ、まつ…♡

おはめ…♡

も、もう…  
止められな…

こ…  
女陰…は…

強…♡

ぢゅう…♡





あと…  
少しだけ…♡

許して…♡  
ほしい…♡

これは…  
私だけが、

私だけが味わえる  
甘露なのだから…♡

先生  
もつと…  
ん♡

もつと私を  
欲して…♡  
焦がれて…

結果、  
獣に…♡

その身を…  
裏したことも…

ああ…  
それで、

ようやく秤は  
均衡を…  
得たというのに…♡

知る由も、  
ないのだからけれど

あ…

尤も  
君は、

すり…♡  
すり…♡

すり…♡  
すり…♡



いや、  
或いは…  
嗚呼…♡

あ…♡

この直感を  
もってしても  
わから…♡



直接  
注がれて  
しまったら

私は…  
どうなっ  
てしまうの  
だろう



触れるだけで  
気を遣うこの情念

その…  
源流を、



いま…挿れたら

間違いなく  
堰は切れる…



おほい

知っていること  
なのかも――

お

あぶ

か

加

ワ  
ル  
ニ

ビースト

サザン



はは：まつたく  
セイアつてば：

「お待ちしていましたよ」  
なんて……

今日は何だか  
グロイバルな

ふんい、き…

…ん？

んん…？

え？









この…♡♡  
とお…♡♡

君の精は…  
悉く

わ…♡  
私の子宮…に

吐き散らして…  
いるからね…♡

5回から先は  
記憶にないが…

せ、  
誓約の履行に…  
なら、

駭りは…  
生じていない…とも…

なるほどね  
君が設定した  
ルールだもの  
君が言うなら  
そうなんだろう

だったら当然  
わかるよね？

その  
理屈を

通すって  
ことはさ…!!



ずん ずん

お お お

つまり、

お

ずん



『何時  
いかなる場所でも』

『中出しセックスなら  
拒みません』って

そういう意味に  
なっちゃうけど!?

いいんだね!?

『なるほど、君は』

『そういう解釈を  
するのだね』

『私の本意では  
無いのだが』

『君の希望ならば、  
仕方がない——♡』

そんな、表情をして……っ

じゃあ……  
こんな狭いところ

いる必要も  
ないね……

セイア……

あむ……♡

ん……ふ

は……♡



君は…  
認めたんだ

待つ…  
くれ…

立つ…  
られ…♡

ひあ♡

柔らかい  
シーツなんて無い  
土の上だろうと

ガタッ

はん

はん

しい  
しぎゅうの

きん

はん  
はん

お

く

ビクッ

扉も天蓋も無い  
空の下だろうと、

ずるずる♡

ひゅ

ひゅ

ん  
ん

私からの膣内射精を  
拒否できないことを

もちろん、  
それが—

う、嘘…

まだ、  
硬い…♡

へあ…?

ん…  
ん…



何故先生

抜い、

てー

友が  
寝息を立てる、

え

君、ちょ、

待つ、

テントの  
裏でも――

は、やっ、

抜いっ

なんっ！  
悪か！なんっ

そうしたいのは  
山々だけど、

なにより――

うっかり  
外出ししちゃ  
いけないし、



セイアの  
ちっちゃい  
おまんこが

過去最っっ高に  
締まってるせいで、

離して  
くれないから

ねっ…!!

スッ

本当に…  
どうしようね

誰か  
起きてたら…

それとも  
セイア、

君なら…  
わかるのかな?

わからないっ♡♡♡

わからないっ♡♡♡

無い…

識りようが…

こんな姿  
見られたら

子宮が  
降りきっている♡♡♡

今射精されたら  
絶対ヤバイ♡♡♡

本当に…何も…

聞き耳を  
立てている可能性は…

おまんこ掻き混ぜる音  
大きすぎるっ♡♡♡

何も…  
二人は本当に  
寝ているのか!?



私の六感  
すべて……

はー♡

はー♡

はー♡

この……

んぎゅんぎゅん

ぎゅんぎゅん

交尾だけに……

♡

くぐちゅ

ほしいで……

……ああ……

獣のほうか  
よほど

淑やかだった

快楽と好奇心を  
貪るために

自らの

未来すら差し出して

スト  
スト  
スト

んぎゅんぎゅん

んぎゅんぎゅん

☆

☆

ぎゅんぎゅん

ぎゅんぎゅん

ぎゅんぎゅん

ぎゅんぎゅん

ぎゅんぎゅん

んぎゅんぎゅん

……でも……



——セイア、ちゃん？

愉  
し  
今  
が  
それ  
たの

**いっしょに♡♡**

ザン

生

お

おふな

おっ

ズ

3. 4. 5.

Yin Yang

お

お

ほ… カン

…えつと…



そりゃあ...さ...?  
わたしが...

言えたことじゃ  
ないかもだけど...

『ヘイローが  
消えてしまうよ』  
っていう

その  
ジョーク...

ほんと  
反応に困るから、

いい加減  
やめてくんないかな...?

おや...

私は  
また...

やってしまった  
ようだね...





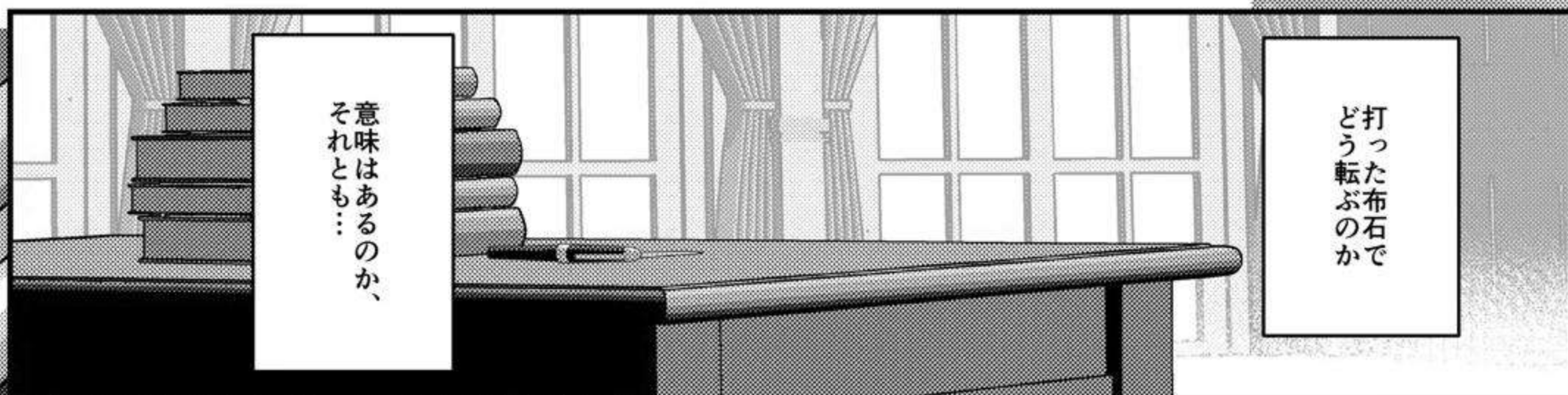
過ぎた好奇心に  
足を掬われる…

然<sup>しか</sup>して、それこそ  
本懐でもある

？

その狭間で  
揺蕩<sup>たゆた</sup>うのは

じつに  
悩ましいね



打った布石で  
どう転ぶのか

意味はあるのか、  
それとも…



「ネタバレ禁止」の  
先の光景は

君の肩越しに  
視るとしよう

END



# あとがき

またのんき▼です。▼は発音しません。

本書をお買い上げ頂き、またこんなところまでお読み頂き、まことにありがとうございます。

書籍版では時間もスペースも(心身の余裕も)ありませんでしたので、こちらで少し書かせていただきます。

今回はセイア本です。

誰を描くか悩みに悩み、ノゾミと2択まで絞った際にバレンタインイベントを見直し、「えろ…」となったのでセイアになりました。(自分の中のノゾミ像に不安があったのもありますが今思うと杞憂だったのかも)

しかし懸念点が一つ。ティーパーティー水着の匂わせがあったことです。

アプリゲームにおける別衣装…それも水着となると、そのキャラを描いている最中とはいえ看過することはできません。しかもセイアは今年はじめの実装で、それまでの病弱なイメージから一変、かなりアグレッシブな一面を持っていることがわかりました。

楽しい半面、自分の想定している内容をぶったぎるような一面が飛び出してきたらどうしよう…。

7月の中旬、ビクビクしながら描き始めていきました。

そしてブルアカらいぶにて実装の発表…。兎にも角にも、イベントストーリーと絆ストーリーを見てからでないと始まりません。幸いなことにどちらも描こうとする内容と齟齬があるものではなく(内容もとても良かった)、イベントにおけるテント泊という新たな要素も面白そうでした。

ただ時間も時間、7月下旬からのテコ入れなんて普段なら諦めるところです。(去年もASMRとかあったけど)

しかしセイアは他のティーパーティー二人と違い実装がひと足早く……そして今回は万博の影響で

夏コミ開催が一週遅く……。締切も去年より少しだけ長い…。

やれと言われていたような気がしました。

心を決め半日かけて表紙を水着衣装に直し原稿を再開、なんとか出すことができました。

此处で言うことでもないのですが、仕事、プライベート両方で大きく心を乱されることが続いたのも相まって大変に情緒不安定な24pになっているかもしれません。

前回の「伊ナ落」を描き終えたとき、次はシンプルな本にしようと思っていたのですが逆を行ってしまいました。次回に持ち越しということでひとつ…。

次は冬になるかと思いますが、いつもと変わらずその時期に一番描きたいものを描くことと思います。

よろしければまたお付き合い下さい。

もし、今作がお気に召しましたら過去作品も見ただけだと幸いです。

恥ずかしながら自分は好みがはっきりしており、それゆえ作品の幅は広くはないのですが、一作が良ければほかも概ね大丈夫なのではないかな…とっております。

表紙デザインは恒例の柊椋先生(@hiiragiryu)です。

情緒不安定なこちらの進行にも関わらず手際の良いで対応本当に助かりました…。

また、この本とは直接関係ないのですが会場限定本のデザインも速攻で仕上げて頂いており本当に頭が上がりません。デザイン自体も素晴らしく、いつもありがとうございます…！

(今回、柊先生の出される新刊にてムツキのイラストを寄稿しております。良ければこちらも是非！)

ふだんは商業イラストを色々やっているのもそっちも見てもらえると嬉しいです。

今回までの自分の作品を気にいって頂けたなら、こちらも何卒応援の程…！

情報はtwitter(X)等で確認して頂ければなど。

では、また機会があれば。

2025年8月18日  
またのんき▼

差し支えなければコメントやtwitter(X)等誌名付きで感想を呟いてもらえればそれ以上の喜びはありません。  
「よかった」だけでも。次の作品の活力になります！ほんとに  
直接私宛でなくとも勝手に見ますのでそこは何卒ご了承ください…。  
※twitter(X)はサーチバン等で見逃してしまう可能性もございます。

📖 #のんきブック #誓ア約